

土魂風才

【本年度の学校経営方針】 Challenge to Change

～持続可能な社会を目指して～ Well-Beingな社会へ

「変化への挑戦」～Try & Error & Solution

Shihoro on ICE 2026



「正解を答える学び」から…「納得解を創り出す学び」へ



コーラスこもれびさんと共演



キャンドルナイトコンサート～吹奏楽部演奏

早いもので3月に入りました。今年は比較的雪が少なく、過ごしやすい冬だったように感じます。少しずつ春の訪れを感じる季節となり、学校も年度末を迎えます。中学3年生にとっては、義務教育を修了いたします。土幌での学びや出会いを大切にそれぞれの道を力強く歩んでほしいと思います。

さて、これからの日本の教育の土台となる「次期学習指導要領」が2030年から全面実施となります。AIの急速な進化や予測困難な社会の変化の中で、これからは「自らの人生を舵取る力」が必要となり、今後、学習の柱となるキーワードは「探究」です。

探究とは、単に知識を覚えることではなく、自分の興味関心や好きという気持ちを起点に、自分なりの問いを立て、試行錯誤しながら新しい価値を創り出すプロセスをさします。言い換えると、子どもたち自身が自分の日常生活や身の回りの素朴な疑問や「こうしたい！」を粘り強く解決していく活動や経験を積み重ねることで主体性を育てていく営みです。

個々に必要感のある課題を設定し、生成AI等を含めたデジタル学習基盤による情報活用能力を生かすこと。得られた情報の正しさを吟味し、自分の考えを効果的に表現する力を上記の探究活動を通じて、実践的に養っていく必要があります。

これらの取組は、「総合的な(探究)学習」と「各教科の授業」が両輪のような関係にあります。各教科で身につける知識・技能が探究活動の中で定着や活用され、生きた知恵へと進化していきます。また、探究を通して、「もっと知りたい」という意欲へと変容し、各教科の学習が更に深いとつながっていきます。

ただ、これらの学びは一人で完結するものではありません。多様な他者との対話や協働、価値観等に触れることで、自分の考えを深めたり、より良い解決策を見出ししていきます。自分の学習の状況を客観的に振り返り、「自己調整」する学びの力に発展していきます。また、本年度の経営方針「Challenge to Change」のとおり、失敗を恐れず試行錯誤を繰り返すで確かな成長につながっていくでしょう。

このように、保護者・地域の皆様におかれましては、学校での学びは、「正解を答える」ことから、「自分の納得解を創り出す」ことへ進化しています。ご家族・地域においても、子どもの好奇心を大切に、対話を楽しんでいただければと思います。子どもたちが自分らしい生き方を問い続け、豊かな未来を切り拓いていけるよう、「こどもまん中」で学校・家庭・地域で連携・協働できればと思います。引き続き、お力添えの程、宜しく願いいたします。

3月5日(木)に3学年へ卒業式前の「校長講話」を両クラスに実施いたしました。例年、公立入試後に校長が1コマ程度、多くの学校で講話を行っています。本校は、学年ではなく、学級毎の実施でした。

昨年同様に、自分のことや堅い授業ではなく、「卒業認定試験」と題し、中学校をクイズ形式で振り返りながら、子どもたちにメッセージ等をお伝えしました。学校にある様々な施設やモニュメントを写真にプロジェクターで映し、生徒がそれは何かを答えるという流れです。

3年間通った学び舎にある様々なものの見方や視点が異なると分からない気づきやちょっとしたヒントや言葉で気づくことなど、バイアス(偏見)で物事を私たちは見ていることを振り返る機会となりました。

また、校内に校舎落成記念兼統合30周年記念に作成された卒業生・在校生制作等の紹介を通して、本校の歴史にも触れました。その中でも、特に、ホールに掲げられているモニュメント「邂逅」に掲げられている先人の思いにも触れました。

町内全中学生が「同じ校舎で、よき師、よき友に選(めぐ)り合い、3年間同窓生として、ともに学び、強い心の絆を結んで卒業する」という願いを確認させていただきました。

来年度から、中学校を離れ、より多くの「よき出会い よきつながり」に選り合い、多様な価値観や考えを尊重しながら、他者と協働して、持続可能な社会の創り手へ成長して欲しいと願っています。



「柔道」を通して～礼儀作法や思いやりを

本校は武道の授業として「柔道」を行っています。

子どもたちの多くは、中学1年生で初めて柔道を体験することとなり、多くの気づきが柔道を通して得られます。単に、怪我防止のための受け身など、基本動作や技を身につけ、試合をするということだけが目的ではありません。武道を通して、礼儀作法や相手への思いやりなどを学ぶ機会となり、柔道の奥深さを体感していました。同時に、日本の伝統文化にも子どもたちが関心をもってもらえれば嬉しいと思います。

全国大会報告～町長表敬訪問

2月19日(木)全国中学生スピードスケート大会報告として、高木町長さんへの表敬訪問を行いました。

大会に参加した生徒一人ひとりから、大会結果と大会を通して学んだこと、これからの抱負、感謝の気持ちをお伝えさせていただきました。大会を通して、子どもたちが成長する姿を感じることができました。

また、高木町長さんから、慰労の言葉を賜りました。過去の全国スケート大会を参観された際のエピソードなど、詳細で大変、楽しく、子どもたちの今後に向けて勇気をいただける内容でした。多大なご支援をいただき、本当に有り難うございました。



「大地くん学習」～家庭科授業とコラボ

3月5日(木)6日(金)に1年生家庭科の授業に土幌キッチン Cheersの斉藤さんを講師としてお招きし、土幌町の食材を利用した「土幌肉じゃが」を調理しました。

包丁の使い方や調理の基本的なことなど、子どもたちに丁寧に分かりやすく説明をいただき、支援いただきました。

「大地くん学習」の一貫として、本来は土幌キッチンを利用したいところではありますが、移動時間や利用人数の関係で斉藤さんが来校いただき学習できたことは、大変、有り難く、今後もお力添えをいただければ幸いです。



学び続ける姿～実践と対話を通して授業力向上

2月26日(木)に十勝教育局主任指導主事さんをお招きし、英語の研究授業を行いました。同時に、上士幌町の英語の先生にも声をかけさせていただき、より多面的な視点から授業について語り合う学習の機会となりました。

この研修は年間で決まったものではなく、本校の英語の先生がご自身の授業力向上のために、「ぜひ、自分の授業を見ていただきご指導いただきたい！」という思いから企画されたものです。

授業後は、上士幌町・士幌町のALTさんにも交流の場に入っており、授業づくりや本日の振り返り等、大変、勉強となる時間となりました。これからの時代に求められている「学び続ける姿」を先生自身が体言化されていることをご紹介させていただきました。



校外学習～作品展示即売会へ

2月20日(金)に帯広市とかちプラザで開催された十勝管内の各種学校で制作された「作品展示即売会」に参加してきました。木工作品や革製品、手芸や陶芸など、様々な作品が低価で販売されており、子どもたちはお気に入りのものを手にとり、買い物を楽しみました。お昼はお弁当を食べ、充実した時間となりました。



1年生～士幌町のお祭りを学ぶ！！

～地域の先生方～

総合的な学習「土幌(ふるさと)探究学習」の一貫として、1学年は「土幌町を知る」をテーマに1年間学習を行ってきました。その締めくくりとして、子どもたちは土幌町のお祭りについて、3つのお祭りに携わっているゲストティーチャーをお招きし、それぞれの思いやお祭りができた経緯・歴史等を語っていただきました。

子どもたちは、単に、お祭りに参加するだけでなく、企画・運営されている皆さんからのお話を伺いすることで、「地域づくり」を中学生の視点から考え、当事者意識をもって、将来、それぞれのお祭りに携わりたいという気持ちへつなぐがよいと思います。

この後、子どもたち一人ひとりが7000人祭りの「イベント企画書」を作成し、実行委員に提出する予定です。お忙しい中、本校の学習に携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。



令和8年度新入学説明会

過日の中学校体験入学と合わせ、小中連携事業の一つでもある「新入学説明会」が2月16日(月)に行われました。

令和8年度は51名の中学校への入学生を予定しております。今回は保護者の皆様にもご来校いただき、4月に安心して中学校に入学できるよう、各種準備等にあたってご説明等をいたしました。

また、生徒会書記局からは、学校行事の説明なども行われ、中学校生活のイメージをもってもらえるスライド上映も行われました。少し緊張気味だった児童の皆さんも、穏やかな表情となり、会場も温かな雰囲気となりました。

いよいよ6年生の皆さんはもうすぐ中学生。皆さんが素敵な表情で本校の登校されることをお待ちしております。それでは、4月8日(水)入学式でお会いいたしましょう。



第5回学校運営協議会～令和8年度学校経営方針承認へ

2月24日(火)に本年度最後となる学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会の大きな役割の機能として「学校経営方針の承認」という行為があります。これは、学校が必ず行わなければならない規定となっています。年2回の教育評価結果やPTA役員や教職員反省、何より子どもたちの声を反映させながら、士幌町が示す総合計画や教育行政執行方針等を踏まえ令和8年度学校経営方針(案)を作成し、ご説明いたしました。

学校運営協議会委員の皆様と何度も熟議を重ねながら、子どもたちまんなかの経営方針を年度内に何とかご承認いただくことができました。本年度もお力添えを賜り感謝申し上げます。



3月

行事予定

今年度も3月を残すのみとなりました。それぞれ新年度に向けての準備が本格化します。4月からの新しい生活や取組に向けての準備が始まります。まとめの時期です。

期日	主な行事	期日	主な行事
4日(水)	職員会議(R8経営方針・人事方針) 公立高校一般学力検査	13日(金)	第61回卒業証書授与式
6日(金)	3年行政指導セミナー	15日(日)	土幌町教育を考える集い
9日(月)	生徒会全校レクレーション	17日(火)	PTA常任委員会 公立高校合格発表
10日(火)	薬物乱用防止教室	23日(月)	定例職員会議(R8新年度新年度計画)
11日(水)	卒業式総練習	24日(火)	令和7年度修了式・離任式 町内小学校卒業式



栄光の軌跡

2月に入り、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開催され、日本の活躍に元気を与えられ、寝不足になられた方も多いのでは…。中体連冬季スポーツの祭典、全国中学校スピードスケート大会が行われました。

第46回全国中学校スケート大会

～スピードスケート競技～

上記大会が長野県エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)で開催されました。本校から6名の子どもたちが出場。1年間の締めくくりの大きな大会で、これまで培ってきた練習の成果を出し切り、上位入賞を目指しました。

全国大会ということもあり、緊張や不安のある中でも、子どもたちは自身の力を精一杯発揮し、最高のパフォーマンス・頑張っている姿に感動をいたしました。これまで、十勝オーバル等への送迎等、支えられたご家族に敬意を表するとともに、多大なご支援をいただき土幌町(町民の皆様)に感謝申し上げます。

- 男子500m 第2位(鈴木さん) 38.52
- 男子1000m 第21位(飯島さん) 40.42
- 男子3000m 第8位(鈴木さん) 1:17.56
- 男子5000m 第26位(飯島さん) 1:21.67
- 女子500m 第12位(大野さん) 4:17.02
- 女子1000m 第18位(大野さん) 7:29.70
- 女子1500m 第12位(野口さん) 42.20
- 女子3000m 第4位(河村さん) 1:23.76
- 男子500m 第20位(野口さん) 1:27.58
- 男子1000m 第4位(河村さん) 2:08.48
- 男子1500m 第7位(小野寺さん) 2:10.56
- 男子3000m 第4位(小野寺さん) 4:30.44



Shihoro on ICE 2026 ～吹奏楽部出演！！

2月6日(金)に本年度も「Shihoro on ICE」のキャンドルナイトコンサートに出演しました。コーラスこもれびさんとの共演し、会場のみなさんと「ふるさと」を合唱しました。会場はとても温かい雰囲気になりました。

冬のイベントに子どもたちが参画することで、地域の皆様と盛り上がり、楽しいひとときとなり、地域活性化につながればと思います。

このように学校と地域がつながり、子どもたちと地域の皆様がつながることは本当に素敵なことです。皆さん、有り難うございます。

